

音楽教育講座 北條 美香代 教授



作曲法研究・作品創作、作品分析

キーワード 作曲法/ 現代音楽/ 作品分析/ 歌曲研究/

どのような研究をなぜ行っているか

西洋のクラシック音楽は、作曲家が、自分にしかできない表現、オリジナリティーを求めることによって発展してきました。その潮流は今も尚継続され、様々な現代音楽の新しい作品が生み出されています。私も、その文化の流れの中で「芸術的な」作品を生み出すべく、現代音楽の作曲家として研究活動を行い、ソロ作品、歌曲、室内楽からオーケストラ作品まで、様々な編成の作品を創作し続けています。特に、日本人として、日本語が響く「うた」歌曲作品の創作を重視しています。創作した作品を様々な演奏会や録音等により発信しています。

作品を創作するためには、過去の作品の作品様式、美意識を学ぶことが必要不可欠です。そのため、様々な過去のクラシック音楽作品について、音楽構造の分析を行っています。様々な作品の旋律構造、和音構造、リズム構造、楽器法について分析・研究をしています。特に、歌曲作品のようなテキストを伴う作品創作に繋げるために、言葉と音楽の協働関係を考察する研究を進めています。

研究成果をどのように活用し、どのような貢献ができるか

研究成果は、大学学部・大学院研究における音楽創作領域の教育や、学校教育及び専門教育における教材研究、教材開発といった領域に活かしていくことができます。

また、音楽構造の分析成果を、社会的な生涯学習の領域に役立てることができます。

作品を演奏会で発表することにより、地域社会の芸術文化向上に寄与することができます。

これまでの連携研究や社会貢献活動の実績

- ・日本現代音楽協会（国際現代音楽協会日本支部）演奏会における新曲発表、関西企画演奏会プロデュース
- ・CD「作曲家グループCue作品集」（ALCD-70）リリース（TYサポートプログラム助成事業として）
- ・奈良県のわらべうた教材作成と授業実践プランの開発—ESDとしての音楽科教育を実現させるために—（2016年）
- ・第32回国民文化祭奈良2017第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会応援事業「奈良のわらべうたコンサート」の企画運営、演奏会出演
- ・産学連携事業「NTN回る学校2019」における音楽プログラム作り協力（図形楽譜「回るシンフォニー」）（2019年）
- ・五條市教育委員会より依頼を受け、五條南小学校校歌、五條中学校校歌、五條東小学校校歌を作曲（2020,2021年）



国文祭・障文祭なら2017におけるわらべうた教材の実演